

■2012年9月～2013年6月 理事会報告

□環境芸術学会2012年度 第3回理事会議事録日時：平成24年9月12日（水）18:30～20:00

会場：東京芸術大学デザイン科会議室

出席：池田政治（会長） 高須賀昌志（副会長） 保科豊巳（国際） 竹田直樹（部会） 池村明生（事業）
大森正夫（研究調査） 宮川輝行（広報） 八木健太郎（支部・九州支部） 横川昇二（監事） 酒井正
（事務局）事務局出席者：桜井龍

〔報告事項〕

1. 事務局報告（事務局）

正会員3名の入会が承認された。 1名の退会が報告された。

2. 委員会報告（各委員会）

学会誌委員会より学会誌のレビュー記事を募集していることが報告された。

〔協議事項〕

1. 2012年度総会要項について

事務局より24年度総会要項（案）の説明があった。

2. 第13回大会について

大会実行委員長より大会の進捗状況の説明があった。

3. 第14回大会会場について

八木理事より西日本工業大学の立地、施設の紹介があり、次年度の大会会場として決定した。企画内容について西日本工業大学会員が中心となり進めていくこととなった。

4. 環境芸術学会賞について

学会賞委員会より、学会賞選定委員会より上程された選定素案に基づき受賞候補者が提案され、大賞を十和田市「十和田市現代美術館を中心とした十和田市の環境芸術に関する一連の取り組み」、奨励賞を山田良氏に授与することとなった。

□環境芸術学会2012年度 第4回理事会（全国理事会）日時：平成24年11月24日（土）14:00～14:40

会場：東海大学湘南キャンパス 13号館13-201教室

出席者：池田政治（会長） 高須賀昌志（副会長） 相澤孝司（支部・近畿支部） 前田義寛（事業） 池村明生（事業） 大森正夫（研究調査） 工藤安代（事業） 下山肇（研究調査） 宮川輝行（広報） 竹田直樹（部会） たほりつこ（国際） 橋本学（部会・北陸支部） 保科豊巳（国際） 八木健太郎（支部・九州支部） 横川昇二（監事） 吉田泰巳（監事） 酒井正（事務局） 事務局出席 金澤麻由子、桜井龍、富田誠

〔報告事項〕

1. 事務局報告（事務局）

学生会員2名の入会が承認された。

2. 委員会報告（各委員会）

学会誌委員長より学会誌11号が刊行されたことと報告があった。

3. 第13回大会について

大会実行委員長より大会2日間の運営状況の報告があった。

〔協議事項〕

1. 本年度総会要項について

第13回総会要項の内容確認をおこなった。

2. 来年度第14回大会について

西日本工業大学で開催することを前回理事会で決定したので、総会において会員に告知することとなった。

□環境芸術学会2012年度 第5回理事会日時：平成24年12月12日（水）18:30～20:00

会場：東京芸術大学デザイン科会議室

出席者：池田政治（会長） 高須賀昌志（副会長） 竹田直樹（部会） 前田義寛（事業） 宮川輝行（広報） 保科豊巳（国際交流） 下山肇（研究調査） 酒井正（事務局） 事務局 桜井龍

〔報告事項〕

1. 事務局報告（事務局）

正会員3名の入会が承認された。 1名の退会が報告された。

2. 委員会報告（各委員会）

学会誌委員会より大会時に学会誌が発行されたことが報告された。

3. その他

大会事務局より第13回大会予算収支結果が報告された。東海大学からの補助もあり予算内で運営することができた。

〔協議事項〕

1. 第14回大会について

八木健太郎大会実行委員長より書類にて現状が報告された。日程、北九州市50周年事業の公募の件等継続して検討することとなった。北九州市市制50周年記念事業参加事業の公募には西日本工業大学と本学会の共同で応募することが了承された。

2. その他

学会賞奨励賞について

2年に1回の授与にすることとなった。（大賞は3年に1回）

□環境芸術学会2012年度 第6回理事会日時：平成25年2月20日（水）18:30～

会場：東京芸術大学デザイン科会議室

出席予定：池田政治（会長） 高須賀昌志（副会長） 池村明生（事業） 竹田直樹（部会） 前田義寛（事業） 宮川輝行（広報） 工藤安代（事業） たほりつこ（国際交流） 保科豊巳（国際交流） 下山肇（研究調査） 横川昇二（監事） 酒井正（事務局）

〔報告事項〕

1. 事務局報告（事務局）

1名の退会が報告された。

〔協議事項〕

1. 平成25年度会長職について

池田会長より一年の任期を残し会長職を辞任する意向が示され理事会において了承された。会長代行として高須賀副会長が任務を果たすことが了承された。現行の理事の任期が終わるまで会長職はおかないこととなった。

池田会長は名誉会員に推薦された承された。

2. 第14回大会について

実行委員長より日程調整の材料として、10/20はオープンキャンパスのため大学が使用不可と報告があり翌週末の10月26日27日を開催日候補にすることとなった。近隣商業施設や北九州市美術館分館と連携を図ることが検討された。

□環境芸術学会2013年度 第1回理事会議事録日時：平成25年4月20日（土）17:30～19:00

会場：東京芸術大学デザイン科会議室

出席者：高須賀昌志（会長代行） 池村明生（事業） 竹田直樹（部会） 橋本学（部会） 前田義寛（事業） 工藤安代（事業） 伊藤明彦（北海道） 八木健太郎（九州） 下山肇（研究調査） 酒井正（事務局）

事務局：石上城行 桜井龍 鈴木太郎 高橋綾

〔報告事項〕

1. 事務局報告（事務局）

正会員1名の入会が承認された。学生会員1名の入会が承認された。 1名の退会が報告された。

2. 広報活動について（広報委員会）

本年度もT&Mアソシエイツが担当することとなった。

3. 論文投稿の状況について（学会誌委員会）

論文投稿の査読にはいることが報告された。

4. 第14回大会について（大会実行委員長）

市制50周年記念事業の補助金申請中であることが報告された。

ここで採択されない場合は北九州市のコンベンション補助に応募する予定。

5. その他

伊藤明彦北海道支部長より学会としてどう関係していけるかは未定であるが札幌国際芸術祭（トリエン ナール）の計画があることが報告された。

〔協議事項〕

1. 研究部会の大会および学会誌での活動報告の義務化について

各部会よりこれまでの活動と今年度の活動予定が報告された。今後の部会活動活性化のために、大会での発表と学会誌への活動報告が義務化されることとなった。

2. 環境芸術学会功労賞について

本会の運営活動、発展に顕著な功績があると認められたものに功労賞を授与することとなった。功労賞は正会員からの推薦に基づき理事会において審議し決定する。理事会より山口勝弘名誉会員が推薦され功労賞を授与することとなった。

3. 環境芸術学会賞について

学会賞予算として年間15万円を計上することとなった。

奨励賞は毎年授与する（該当者なしもありうる）こととなった。

4. 環境芸術学会会員有志による作品展について

学会として会員の作品展に補助、コーディネートをする制度があってもよいのではと意見が出された。地方大会と運動し展示等も考えられる。継続審議となった。（下山氏が担当）

5. 第14回大会について

実行委員長より現段階での進捗状況の説明があった。

6. 第15回大会について 開催地

群馬女子大の高橋綾氏を中心となり、群馬県伊香保温泉を会場に検討を進めることとなった。

7. 今後の理事会開催について

大会時の全国大会以外は土曜日17:30からの開催とし、以下の日程を開催予定日とした。

6月22日 9月7日 大会当日10月26日 12月14日 2014年2月22日

8. その他

池田政治前会長を名誉会員にすることとなった。

学会員データベースのシステム作りにより30万円を計上することとなった。

□環境芸術学会2013年度 第2回理事会議事録日時：平成25年6月22日（土）17:30～

会場：東京芸術大学デザイン科会議室

出席者：高須賀昌志（会長代行） 逢坂卓郎（事業） 竹田直樹（部会） 前田義寛（事業） 保科豊巳（国際交流） 下山肇（研究調査） 池村明生（事業） 酒井正（事務局）

事務局 石上城行、高橋綾、桜井龍、鈴木太郎、富田誠、田中ゆり

〔報告事項〕

1. 事務局報告（事務局）

正会員3名の入会が承認された。学生会員1名の入会が承認された。 1名の退会が報告された。

2. 各委員会について

学会誌委員会より論文投稿の状況について、6月末日を目処に査読をおこなっていることが報告された。

3. 第14回大会について（大会実行委員長）

大会実行委員長より大会準備状況が報告された。具体的な検討は協議事項の中でおこなった。

4. その他

地域環境アートワークショップ研究部会の2013年活動計画が報告された。2013年11月10日に神戸にてシンポジウム等を開催する予定となっている。

〔協議事項〕

1. 研究部会申し込みについて

アートプロジェクトと副産物研究部会（会長、田島悠史）の設立が承認された。

2. 環境芸術学会会員有志による作品展について

東京都台東区入谷画廊へ学会代表者が伺うこととなった。

3. 第14回大会について 大会内容等

大会会期中に山口勝弘名誉会員の功労賞授与式を開催し、山口氏のビデオメッセージを流すこととなった。テーマを「都市と環境と芸術の未来」とした。

功労賞お披露目と実験工房展の紹介と『銀輪』の上映は総会の後にずらし、作品・パネル発表はエクスカーションの前に入れることが提案された。

展示は大会両日の26日と27日とする。可能であれば前1週間程会期をのばす。作品・パネル発表搬出は27日の大会終了後とする。

街中での作品展は大会事務局が無理のない範囲であればおこなうことにする。街中作品展の可否は大会事務局に委ねる。

懇親会費は5,000円となった。

基調講演、パネリストは大会事務局側の案が了承された。学会員からは池村氏が候補として推薦された。

宿泊場所については、いくつかホテルをリストアップし会報に掲載するが、予約は会員が直接おこなう。大会事務局が部屋をおさえることはしない。

（細かい部分については学会事務局と大会実行事務局が調整をはかることとなった）

4. 第15回大会について 開催地について

高橋綾氏（群馬県立女子大学准教授）より群馬県伊香保での大会開催にむけての現地でのリサーチ結果が報告された。現地の商工会青年部や旅館組合、女将の会からは、大会開催について概ね良い感触が得られている。今後は伊香保温泉で開催する意味を明確にすることが必要であるとの共通認識を持った。

来年度の大会は高橋氏を実行委員長として群馬県渋川伊香保を会場に開催することとなった。

5. その他

アート&ソサエティ発行書籍買い取りについて。